

喜界町



議会だより

185号

令和3年10月25日発行



主
な
内
容

はがきアンケート	2
決算審査認定	4
常任委員会報告	8
一般質問に5名が登壇	9
議会のうごき	15
編集後記	16



発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

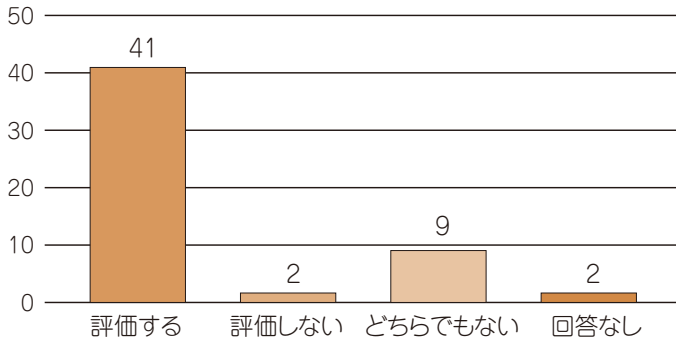
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

写真-じいちゃんチバロー

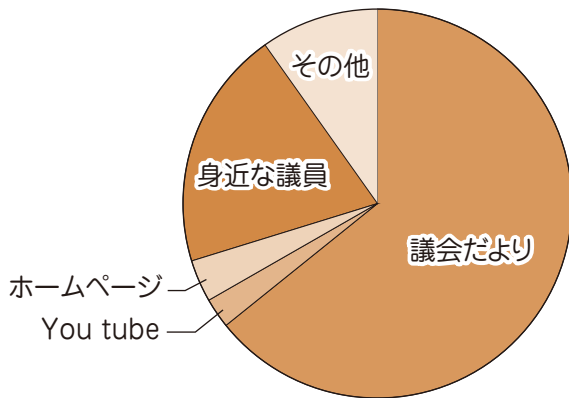
はがきアンケート 5月24日～（合計54名）

アンケート調査の御協力有り難うございます。調査の結果を取りまとめましたので185号、186号に分けて御報告致します。はがきアンケートにつきましては、二年間有効（令和5年4月末）ですので御協力頂ければ幸いです。町民の皆様からのご意見を参考にし、お気持ちを受けとめ、前進できるよう努めて参ります。



今回の議会だよりを評価する

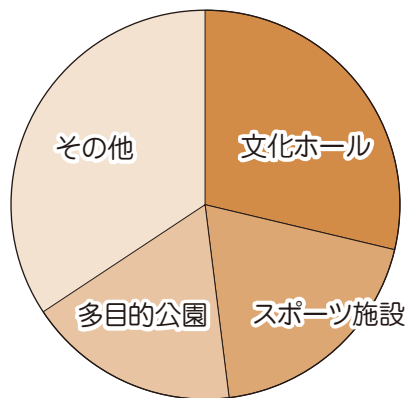
項目	人数
評価する	41
評価しない	2
どちらでもない	9
回答なし	2



議会活動はどのように知っていますか？

項目	人数
議会だより	52
You tube	2
ホームページ	3
身近な議員	16
その他	8

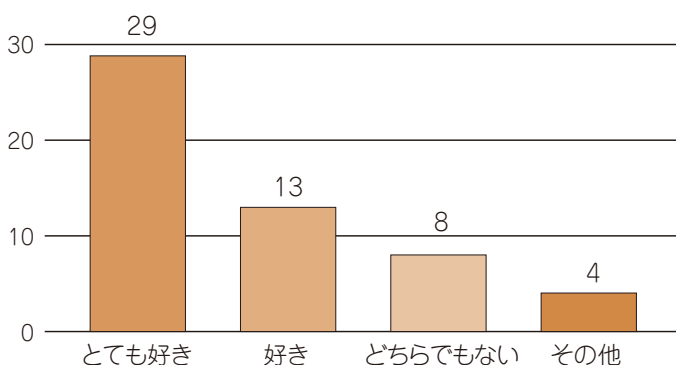
※複数回答可
その他→チラシ、議会傍聴、など



喜界町に欲しいものはありますか？

項目	人数
文化ホール	21
スポーツ施設	14
多目的公園	13
その他	25

※複数回答可
その他→マラソンロード、福祉施設、避難所、温泉レジャー施設、身障専用就労所、高齢者が使いやすい風呂施設、美術館など



あなたは喜界町をお好きですか？

項目	人数
とても好き	29
好き	13
どちらでもない	8
その他	4

※複数回答可
その他→回答なし、嫌いなど

◆「議会だより・議会」に対する意見（はがきアンケート）

いつも喜界町の為にありがとうございます。イベントの際パイプイスでの1～2時間は私達の年代でも辛いです。300名程度の観客席（可動式）があったらいつも願っています。普段は会議や練習の場として使用し客席が収納できる会館があれば、もっと町民の楽しみが増すと思います。

【年代:30代】

2020年の議会議員選挙では、日本最高齢のうぐいす嬢が誕生し、話題になりました。今回の“読者の声”を拝読し、違う意味で素敵な女性がうぐいす嬢として活躍されたことをうれしく思いました。荒廃の一途を辿る喜界町にも希望の光が差し込んだようです。議会だよりを楽しみにしています。もうちょっと頑張ってください。

【年代:不明】

女性議員が出てほしい。議員の皆様方は、町民の声を聞くことを心がけてください。皆さん全議員が質問に立ってほしい。

【年代:60代】

若い力は新しい風であり、新しい知恵であり新しい力となれる。小さな喜界島だが、島を愛する若者は多い。若い人の意見も良く聞きながら島のことを良くしていこうと議員さんや行政の人、島人、皆いずれおとらぬ情熱を感じる。観光も大事な資源。まずはきれいな浜であってほしい。

【年代:不明】

福祉タクシー券なる物を発行して、障害者、老人、心臓病等の方に配ってほしい。喜界町には無理かな？

【年代:60代】

雨でも子供達が遊べるアスレチック施設が欲しい。喜界島はつまらない。

【年代:30代】

議員のやりたい事があれば、具体的に議会だよりに掲載してみても。一般質問をもっとたくさんの議員にやってほしい。

【年代:60代】

身体障害者専用の就労場所を作ってほしい。

【年代:30代】

みな様いつもありがとうございます。島の往来を増やすために、船・飛行機の料金はさらに安く、特に船の自動車の料金は半額にして行く様によりよろしくお願いいたします。本土とのビジネス競争にそもそも離島は不利な条件が多く、このままではさらに過疎化が進むと思います。

【年代:50代】

喜界島で、少子化が進むなか、小・中学校は統合して、継続していますが高校がどうなるのか。卒業生として、とても心配です。町と議会は、継続するために、いい方法等ないものか。一度話し合われたら。

【年代:70代】

議会開催後、議会だよりが手元に届く日数がかかりすぎていると思います。

【年代:不明】

今回は若き議員さんのそれぞれの想い、思考、島、島民への個々の想いが伝えられており、良かったと思います。島の輝かしい未来の為に若き議員さんが団結して、ベテラン議員さんのアドバイスを元に、能力発揮、実行して欲しいと願ってます期待してます。頑張ってください。

【年代:60代】

表紙はカラーなので、とても見やすいです。中は写真が入っているので読みやすい。読者の声と編集後記もこれからも続けてください。

【年代:60代】

趣味深く、読ませてもらっています。

【年代:50代】

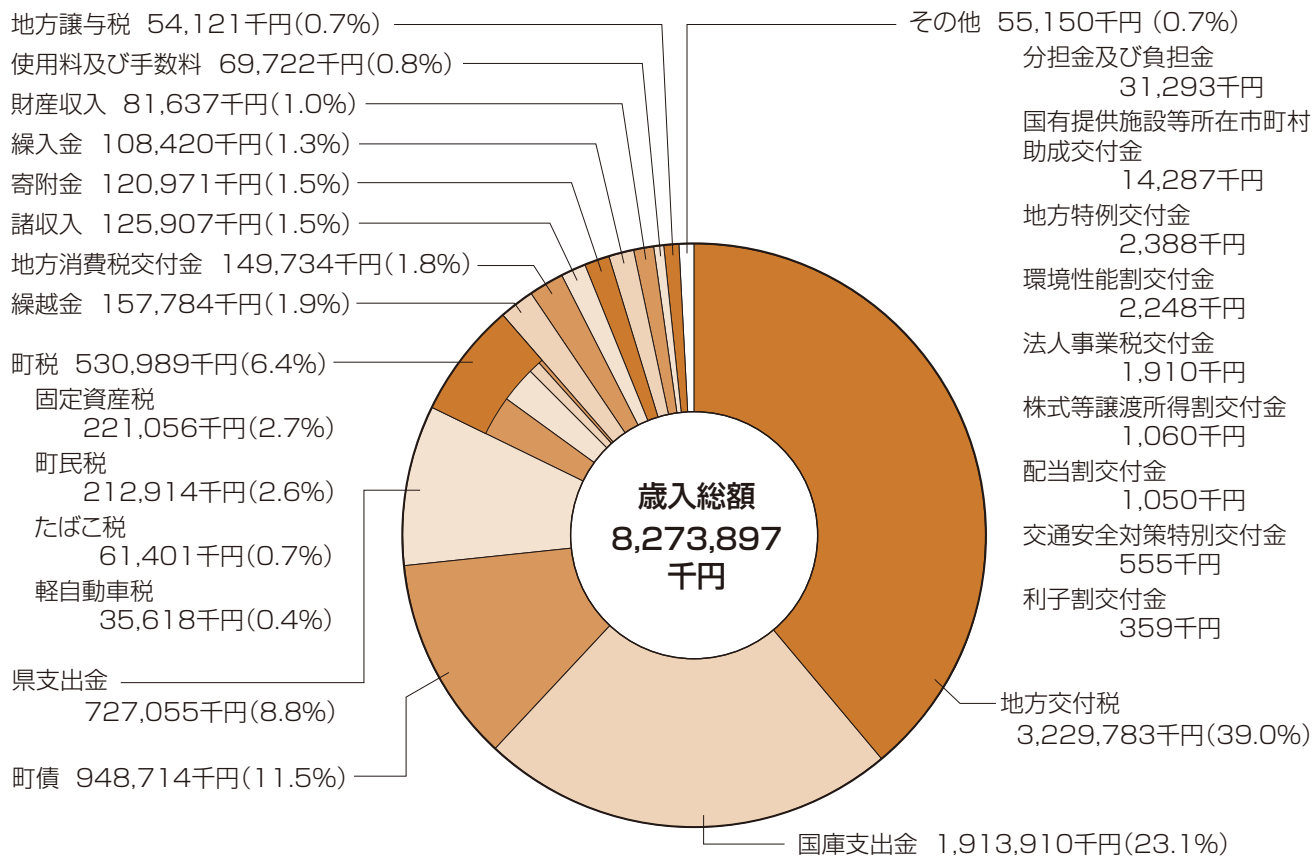
今回（ハガキアンケート）は非常にいい試みだと思います。議会・行政と町民との間の双方向の意見交換・意思疎通は重要だと思います。文化ホール設立基金の創設を希望します。音響設備も充実したものを。

【年代:70代】

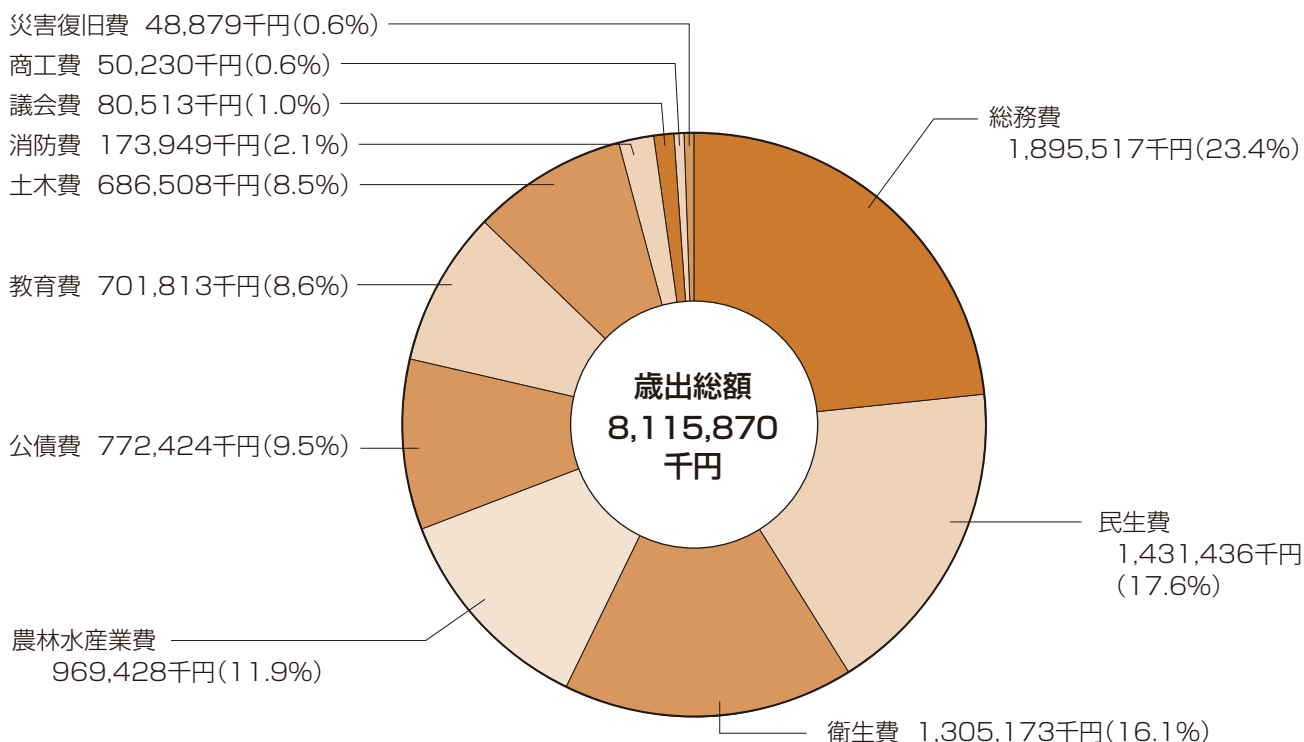
町民一人当たりの決算規模“1,181,349円”

令和2年度喜界町一般会計の決算審査認定

◆ 歳入項目別決算額



◆ 歳出項目別決算額



令和3年第3回定例会は、9月2日から9月17日まで16日間の会期で開催しました。初日は、報告3件があり、令和2年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例案件の議案12件については各常任委員会に付託し、同意案件2件を同意しました。令和2年度喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託されました。2日目は、一般質問（議員5名登壇）。最終本会議には、令和3年度喜界町一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例案件6件、陳情1件、発議1件を原案のとおり可決し、決算審査特別委員会に付託された令和2年度一般会計及び特別会計の決算認定については、9月7・8日の2日間審査し、結果全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査の主な事業

担当課	事業名	内容説明	決算額
総務課	総務管理費 (喜界町災害対策基金積立金)	災害時の避難所整備費、消耗品購入費、復旧工事費等	30,000千円
	常備消防費 (大島地区消防組合負担金)	常備消防費とは、喜界分署の運営費用。内容は、職員15名の給与、出張旅費、4台の車両修理費等。	134,516千円
	県知事選挙費(備品購入費)	自動計算機を導入することで集計作業の効率を上げ、人員の削減に取り組んだ	368千円
	庁舎管理費(工事請負費)	本庁舎のエアコン修繕費	41,250千円
	財産管理費(修繕料)	伊砂集落の公民館入り口の改修工事等	1,471千円
	自治振興費(委託料)	区長会への委託料(以前の区長報酬)	25,462千円
	交通安全対策費(原材料費)	ロードミラー12ヶ所の設置料等	1,408千円
企画観光課	条件不利性改善事業 (加工品輸送コスト支援補助金)	黒糖焼酎の輸送支援補助金 (酒造会社2社)	12,304千円
	公園災害復旧費(原材料費)	台風10号でスギラビーチに打ち上げられた砂や碎石の撤去費用	3,000千円
	地方創生関連事業 (喜界馬飼育委託料)	馬小屋や柵の設置費、飼育料等	5,413千円
町民税務課	住民生活費 (シルバーセンター運営助成金)	町民の方へ安価で草刈り等の作業を行っている。また雇用の確保にも繋げている	3,700千円
	火葬場費(修繕料)	炉一基の耐火煉瓦の修繕 (前は平成22年実施)	9,209千円
	廃棄物処理施設整備費 (一般廃棄物焼却施設工事請負)	令和2年度分のクリーンセンター建設費	709,215千円

担当課	事業名	内容説明	決算額
町民税務課	地籍調査事業費 (地籍調査基本測量委託料)	立会調査・測量実施後に地籍図作成する。 羽里、滝川、島中、西目の地籍図作成済。 湾・大朝戸で調査・測量実施済。	15,260千円
保健福祉課	社会福祉総務費 (ひとり親家庭医療費助成金)	医療費の一部を助成することで、ひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図った	2,521千円
	子育て世帯臨時特別給付金事業	0歳児～18歳までの子供への給付 (927名×1万円)	9,270千円
	保健福祉総務費 (医師旅費助成金)	徳洲会病院医師の旅費助成 (産科・循環器科・整形外科・眼科・皮膚科)	4,000千円
	高齢者福祉費 (配食サービス委託料)	在宅で調理が困難な高齢者等に食事の確保と安否確認などの推進を図った	6,591千円
	高齢者福祉費(長寿祝金)	長寿を祝福しお祝い金を支給した (85歳71名、90歳58名、95歳19名、 100歳3名)	4,410千円
	母子保健事業費 (妊産婦助成金)	妊婦健診の旅費助成や出産時の宿泊費助成 を実施し、妊産婦の負担軽減を図った	2,787千円
	児童福祉総務費(工事請負費)	第一保育所の老朽化による建て替え工事を行 っている(令和3年11月完成予定)	28,160千円
まちづくり課	港湾整備費 (喜界町港改修工事等)	浦原港改修工事費(複数工区)。沖防波堤の 製作、設置工事費用	275,590千円
	地域住宅交付金事業 (工事請負費)	湾・宮戸住宅H棟(8棟目・2階建て5部屋) 工事請負費 1DK1部屋、2DK2部屋、3DK2部屋	102,300千円
農業振興課	農業次世代人材投資事業 (農業次世代人材投資事業補助金)	新規就農する方へ年間最大150万円の支援 を行う国の事業。最長5年間。 令和2年度は9名の方へ支給。	11,484千円
	農業基盤整備促進事業 (設計委託費・農道、 水路促進事業費)	詳細は、①農道設計委託:城久・上嘉鉄 ②農道工事:手久津久、花良治、赤連 ③暗渠排水工事:花良治・塩道。	35,554千円
	鳥獣防止対策事業費 (カラス施設管理委託料)	町内5カ所にカラスのワナを設置委託。 更に、捕獲したカラス1羽につき捕獲料千円 を支払ったもの。捕獲総数513羽。	653千円
	農地・農業用施設復旧費 (災害復旧工事費)	台風10号による大雨により被災した農地費 (11箇所)施設(13地区)の復旧費	25,600千円

担当課	事業名	内容説明	決算額
農業振興課	農業振興費 (農業後継者育成事業交付金)	農業研修者への毎月10万円の助成金 (50万×4名、70万×1名)	2,700千円
	糖業振興費 (さとうきび生産振興基金事業補助金)	農薬、除草剤の補助(約20%補助)	2,289千円
	畜産振興費(増頭推進補助金)	生産牛購入の為の補助金 (新規農家1頭15万円。 既存農家1頭10万円)	2,660千円
	園芸振興費 (農産物輸送コスト支援補助金)	鹿児島市場に出荷する作物の鹿児島までの 海上輸送コストの補助金 (国70%、県町各々15%)	14,399千円
	運営費 (営農支援センター管理作業委託料)	令和2年度より開発組合へ委託 (人件費、種子代、育苗、資材等の全ての経費)	9,806千円
	特殊病害虫特別防除事業費	アリモドキゾウムシ駆除作業全般を開発組合 へ委託	43,256千円
	農地費(工事請負費)	第二喜界島農場水利事務所改修工事 (荒木小跡地)	96,000千円
教育委員会	事務局費 (スクールバス運行委託料)	大型4台、中型2台、マイクロ2台、計8台の 運行費及び車検・燃料・整備費用。利用者園児 94名、児童118名、生徒67名	43,123千円
	GIGAスクール構想事業費 (委託料・教育備品費)	ネット回線敷設整備費。町内全小・中学生に 1人1台のタブレット端末550台購入。	71,732千円
	地方創生関連事業費 (国公立大学進学応援事業費)	令和2年度は20万円を11名(過去最多)に 支給。	2,200千円
	入学祝い金	町内の小・中・高入学生に支給(158人×2万円)	3,160千円
	学校管理費(修繕費)	喜界小学校のプールフェンスの取り替え 早町小学校のプールシャワー修繕 喜界中学校の壁がなく柱だけで構成された ピロティ(吹き抜けの空間)の設置 (地震・耐震性・耐津波性能)	4,127千円
	就学援助費(準要保護費)	生徒学用品費・新入学学生用品費・給食費・ 通学用品費を支給	7,287千円
	文化財保護費(手数料)	城久公園草刈り(シルバーに委託年4回)	1,321千円
大島地区大会運営費 (庁用備品費)	サッカーゴール4基 (喜界高校2基・総合グラウンド2基)	851千円	

補正予算の主なもの

● 総務文教常任委員会報告

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	新型コロナウイルス感染症対策費	空港、港における検温作業等の業務	1,468千円
企画観光課	ふるさと寄付金事業(消耗品費)	ふるさと寄付金の増に伴う、返礼品の増加	1,600千円
	加工販売施設運営費(修繕料)	誘導灯9台設置のための修繕費	183千円
	商工業振興事業費(委託料)	夏祭り代替イベント開催予定	3,000千円
町民税務課	火葬場費(修繕費、手数料)	シロアリ被害による窓枠等の修理2百25万5千円、シロアリ駆除手数料として14万8千円	2,403千円
	塵芥処理費(重機借り上げ料)	粗大ゴミ置き場分別等の重機借り上げに伴うもの	20,490千円
	廃棄物処理施設整備費(土地購入費)	喜界町一般廃棄物最終処分場の土地購入費(土地3筆、面積29,259㎡、㎡単価1,200円)	35,404千円
教育委員会事務局	小学校費(修繕料)	喜界小学校のプールフェンス修繕2百50万円、早町小学校牛乳冷蔵庫30万円	2,800千円
	中学校費(県体会出場補助金)	県体会出場部活の増と台風の影響により飛行機使用のため	434千円
	公民館費(修繕料)	中央公民館の防火整備修繕	238千円
	旧学校管理費(修繕料)	旧坂嶺小学校、体育館の床修繕	530千円
	文化財保護費(修繕料、手数料)	発掘調査に使用する測量機器の修繕料58万5千円、施設外壁の洗浄手数料88万8千円	1,473千円

● 産業福祉常任委員会報告

担当課	事業名	内容説明	予算額
農業振興課	園芸振興費(修繕料)	アグリハウス(農業研修生ハウス)のハウスとハウスの繋ぎ目にあたる排水部分谷の修繕と、ビニールの巻き上げ機の設置で10棟全全ての修繕料	3,500千円
	家畜診療所運営費(医薬材料費)	牛の検診が月1回であったが、病気の早期発見、治療に繋げるため、検診を月2回行ったことでの診療件数増加	13,460千円
まちづくり課	漁港整備費(修繕料)	荒木漁港のコンクリート打設、小野津漁港配線盤、同じく小野津漁港の飛び込み防止柵等の修繕	852千円
	土木総務費(修繕料)	城久公園(東屋)修繕料	423千円
	道路維持費(修繕料)	ショッピングセンターふくり前の町道整備、小野津集落の雁股の泉上、町道に安全対策のためのポールを設置	2,960千円
	住宅管理費(修繕料)	塩道団地のコンクリート爆裂工事(ひび割れた部分の修繕)4世帯分	1,512千円
保健福祉課	高齢者福祉費(長寿会活動補助金)	手久津久集落ゲートボール場のトイレ修繕	581千円
	健康増進事業費(検査助成金)	高齢者の方へのPCR検査の助成金で、濃厚接触者には該当しなかったが接触者となった方に検査費用を全額助成	600千円
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(子育て世帯生活支援特別給付金)	対象者の増加による	2,700千円

一般質問

町政のここが聞きたい

第3回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
土岐 和貴 議員

新型コロナウイルスの接種状況

質 要

現在、全国的にも新型コロナウイルスの接種が進んでいく中、アナフィラキシーや副反応、因果関係は不明だが死亡報告も厚生科学審議会にて情報収集されている。今後ワクチン接種に関して、自分の体に適しているか、子供にとって必要か慎重に考えて接種する、接種しないを考えていく必要がある。

質 問

本町でのワクチン接種状況、副反応やアナフィラキシー報告の現状について伺う。

答 弁

保健福祉課長

ワクチンの接種状況について、65歳以上の接種対象者は2,904名、1回目の接種者は2,426名、接種率が83.5%となっている。2回目の接種者は2,397名。接種率は82.5%となっている。ワクチン接種後の副反応について、一時的な接種部位の痛みや発熱、だるさが出たという声は聞いている。接種会場で、一時的に気分不良を訴え15分ほど休憩をされた方が3名。アナフィラキシーについては報告はない。

質 要

ワクチンの性能は感染予防を期待するものではなく、あくまで発症予防、重症化予防が想定されていると厚生科学審議会の審議結果報告書に記載されている。子供にとって本当にワクチンが必要か真剣に悩んでいるご家族も多くいる。重症化リスクの低い若年層へのワクチン接種に関して、今後慎重に考えてメリット、デメリットを詳しく説明した上で接種を進めていく必要

があると考ええる。そして今後接種を希望した方、接種を希望していない方、両方が差別的な対応がないように十分な配慮が必要だと考える。

質 問

本町における12歳以上64歳までのワクチン接種の予約状況について伺う。

答 弁


保健福祉課長


12歳以上64歳までのワクチン接種の予約状況について、全体の接種対象者が3,230名、その中で医療従事者等接種済み者が544名、今回集団接種対象者が2,686名。予約者について、9月2日現在2,037名、予約率が75.8%となっている。ワクチンの安全性は、1年ちよつとで認証されたところの短さはあるが、発症予防、重症化予防が期待されている。若年層、子供たちへのデルタ株も広がってきているという現状を鑑みると、やはり接種は進めていくべきではないかと考える。

就労支援の充実に向けて

質 要

就労支援は人間にとってかけがえない営みをそれぞれの状況に即して実現できるように支援することだと考える。現在では全国的





予防接種は強制ではなく、あくまでご本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。新型コロナウイルスについては、国内外の数百万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をお勧めしています。

しかしながら、接種は強制ではなく、あくまでご本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。接種を望まない方に接種を強制することはありません。また、受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないよう、皆さまにお願いしています。仮にお勧めの会社等で接種を求められても、ご本人が望まない場合には、接種しないことを選択することができます。

引用：厚生労働省HP

に農業と福祉の融合で農福連携が進められている。本町でも農福連携の取り組みが進むことで、障がい者や高齢者、生活困窮者の働き口の創出ができるとともに農業分野の働き手不足の問題解消に繋げていけると考える。

質問

障がいを持って生活している町民の方々の中で可能な限り少しでも働きたいが働ける環境がないと意見をいただいている。本町における就労支援の取り組み、現状について伺う。

答弁 保健福祉課長

本町の障がいの就労支援の現状は、地域活動支援センター事業をNPO法人喜界福祉ネットごま畑、小規模作業所のほつと館に委託している。精神障がい者がいつでも集える憩いの場、作業を通して自立を目指す場としている。現在8名が利用していて、年に3回から4回、あまみ障害者就業・生活支援センターが、障がい者就労登録相談会を実施している。現在登録者、仮登録者合わせて19名。

平成30年度に町内の福祉事業者が、障害福祉サービス就労継続支援B型事業所を開設しサービスを

提供していたが、本年5月に廃止をしている。

このような現状を少しでも改善し、障がいの就労や生きがいづくりの場を生み出すために、農業分野での就労機会の創出を図る農福連携の取組で障がい者支援を検討している。



質問する
米田 信也 議員

美しいスギラビーチを 取り戻そう

質問

奄美・沖縄世界自然遺産登録に伴い、喜界島にも観光客の増加が見込まれる中、島の観光資源の一つであるスギラビーチに散乱するサンゴ石を除去できないか。また、ポイ捨てごみの清掃や、ポイ捨て禁止の徹底、啓発について伺う。

答弁 企画観光課長

サンゴ石の除去は、例年冬期に

砂入れ等の整備を行っている。昨年台風14号においてかなりの被害を受けており、災害復旧事業として石の除去、ビーチの整備を行った。今後整備をする上で、どのようにしたら状況改善につながるかなど、検討していく。

ごみのポイ捨てについては、これまでも注意喚起の貼紙掲示、それから広報紙や防災無線での呼びかけ等を行っているが、残念ながら現状を絶たない状況が続いているのが現状である。

一方では、善意でごみ拾いを行っている有志の方もおり、そういった方々に感謝を申し上げます。

今後については、注意喚起の取組と併せて、有志の方々の取組の輪を町内全域に広げていき、施策を検討し、ごみのない美しい島を目指す。

質問

公園について、グラウンドゴルフやサッカー等を楽しむ町民の憩いの場である多目的広場にある、増え過ぎたアダンの剪定や除去、また、ビーチ側の定期的な草刈りの実施について伺う。

答弁 企画観光課長

アダンは喜界町の貴重な植物で、

保護植物として指定されている17種のうちの二つ、そのためむやみに採取、採掘、伐採等が禁じられている状況。現在、企画観光課において計画している空港臨海公園の改修事業、その実施の際に協議し対応する。

スギラビーチ側の草刈りは、本年度より、年度当初の打合せにて毎月計画的に実施するとして、以前よりも改善が図られている。また、問合せや苦情等についても、その都度現場を確認して、必要に応じ管理者や業者へ作業指示を行っている。

スズメバチの完全駆除を

質問

喜界島では今まで確認されなかったスズメバチが、花良治集落の水源地で確認された。この巣はもう既に駆除されたが、ほかにもある可能性があり、百之台のポイント211のそばで、コガタスズメバチだと思われる個体が数匹確認されたという情報も入っている。今後の調査、注意喚起、発見時の対応について伺う。

答弁 企画観光課長

スズメバチの調査については、奄

美野生生物保護センターへ蜂類の同定について、写真、個体を送り、8月25日にコガタスズメバチと同定結果が出た。

注意喚起については、既に防災無線にて呼びかけ、今後発行される町広報紙の9月号にて注意喚起を行う。

発見時の対応について、巢など発見の際は、むやみに刺激することなく、役場へ一報いただくよう、防災無線及び町の広報紙で引き続き呼びかけを行っていく。

今後については、トラップを追跡調査のため仕掛けていく。その状況を見ながら、今後関係各課及び専門家を交えながら駆除方法についても協議しながら進めていく。

今、百之台、ポイント211の牧草地で、コガタスズメバチであろう個体が確認されている。そちらも注意をしながら、今後協議を進めていく。

コロナ対策で救済充実を

質問

昨年11月から確認されなかったPCR検査での陽性者が、8月に入り爆発的に感染が広がっている。感染拡大の中、鹿児島県に出されたまん延防止等重点措置を受け

て、時短営業や休業を余儀なくされているお店の従業員の方への救済があるのか伺う。

答弁

企画観光課長
従業員等個人向けの支援策は、個々の状況に応じた対応が必要となってくる。そのため、早急に相談会等を開催して、個々の相談に応じていく。

併せて、国、県などの支援策を受けられることができない場合は、町独自の対策も講じていく。

質問

喜界空港やフェリー乗り場における検温等の水際対策を講じているにもかかわらず、今回感染が拡大したことについてどのように考えているか。また、今後の対策に向けて、強化対策を考えているか伺う。

答弁

保健福祉課長
本町での空港、港での水際対策については、各港では出港前の検温を実施している。37.5度以上の発熱者は乗船できない。航空路は、喜界空港到着時に37.5度以上の発熱が確認された場合、改めて電話で体調の確認を行い、必要な場合は相談センターへの相談や病院受

診を勧めている。来島される方々に向けては、町のホームページでPCR検査の受検をお願いしている。

また、8月16日からは県の事業で、鹿児島空港や港から県内離島へ移動する方に対し、鹿児島中央駅及び鹿児島空港でPCR検査ができるようになり、水際対策が強化されている。

引き続き、関係機関と連携して、水際での感染防止に努めていく。

質問

陽性反応が出た方への対応について、自宅療養になっているが、自宅療養や宿泊施設療養の注意点の徹底、宿泊施設の確保、心的ケア、不当な差別や偏見への対応を伺う。

答弁

保健福祉課長
感染者への対応方法は、県内での感染者の急増により医療体制がひっ迫し、搬送受入れが困難となるなど、緊急的な事態が発生している中で自宅待機となったことは御理解願いたい。

現在、県と連携して、軽症者等の隔離や経過観察が可能となるよう、宿泊療養施設の開所に向けて調整をしている。

今後の対応は、患者の症状や家族構成、生活環境を考慮した上で、

自宅での待機、宿泊療養施設、医療機関への入院、島外への搬送等、症状に対応した療養ができるよう取り組んでいく。

感染者への差別や偏見、誹謗中傷など人権を侵害する行為についても、警察をはじめ関係機関と連携して、町民の皆様への御理解を求めていく。

最終処分場の進捗状況

質問

最終処分場予定地の買収及び設計図の進捗状況について伺う。

答弁

町民税務課長
土地の購入は、今議会に上程している一般会計の補正予算（第3号）において、廃棄物処理施設の整備費の中に、土地購入費として3,540万4,000円を計上している。

設計は、7月14日に入札を行い、日本水工設計株式会社鹿児島事務所が落札した。これに伴い、配置等の実施設計、工程計画について8月初旬に打合せをした。



質問する
良岡 理一郎 議員

宿泊療養施設の開所は喫緊の課題

質問

本町において、新型コロナウイルス感染者は8月11日の1人の感染発表以来、短期間で87名の陽性が島内で確認される大変な経験をした。

今回の対応で深刻なのは、鹿児島県・喜界町が用意すべき軽症者、無症状者向けの宿泊療養施設は用意できるとしたにもかかわらず、施設が開所できず80余名の多くの感染者が自宅療養を余儀なくされたことにある。

宿泊療養施設は看護師が常駐し、24時間医師と連絡でき一定の医療の見守りが確保でき、費用は公費負担が原則ですので宿泊料、食費、医療費は無料である。一方、自宅療養の場合は家族感染のリスクがあり、食費も個人負担。

奄美医療圏で宿泊療養施設を確保できてないのは喜界町だけ。

(9月3日現在)

今、町に求められていることは、取りうるあらゆる手立てをもつて町民の命を守るために全力を挙げることである。

8月の陽性確認者詳細、今後の対策について伺う。

答弁

町長・保健福祉課長・企画観光課長
①新型コロナウイルス感染者は県の発表では島外での感染者2名含め89名、島内感染者は87名。重症度別には87名中、中等症Ⅱが3名、中等症Ⅰが5名、軽症が79名。

隔離施設は医療施設が9名、自宅待機が81名。

その後、療養解除された方を引くと9/3現在自宅療養者は16名である。

②自宅療養者にはパルスオキシメーター(酸素濃度計測器)を30個用意し貸し出している。食事の提供



貸出用パルスオキシメーター

は一人暮らしで用意ができない方に提供している。

③宿泊療養施設の重要性は認識している、県とも連携しつつ確保に向け尽力していく。今後は公共施設も隔離施設として検討していく。

④空港の手荷物引き渡し台の密状態は関係機関と協議の場を設け改善していきたい。

町民の有料PCR検査実施の方向

質問

1年半も続いている新型コロナウイルスの拡大の連鎖を断つには大規模なPCR検査が大事である。検査は感染者の早期発見、クラスター封じ込めに不可欠である。今こそ大規模PCR検査を実施すべきであると考え。如何か。

答弁 保健福祉課長

①現在、PCR検査は、感染が疑われる方や濃厚接触者等に対し保健所の判断による行政検査がある。また病院では院内感染を防ぐために実施されている。大規模検査については国、県の動きを注視したい。

②町民が希望する有料のPCR検査については、医療機関とも相談

しながらマンパワー不足等を解決し、PCR検査ができるよう検討している。

過労死ライン残業月80時間超の町職員はいない

質問

コロナ禍で中央官庁や都市部の自治体では、過労死ラインの80時間越え、100時間の労働実態も報道されている。本町職員の皆さんには長期に渡ってコロナ拡大防止対策に従事いただいているが過重労働、とりわけ過労死ラインの月間80時間超の職員はいないか。防ぐ手立てを伺う。

答弁 総務課長

①職員は通常業務に加え新型コロナウイルス感染症対策に懸命に取り組んでいる。現在のところ過労死ラインの80時間を超える職員はいない。防止策として事前に超勤命令を受けるところになっている。その際45時間を超えそうな段階で総務課と担当課長で調整することで実務軽減を図る手立てを講じている。

②仮に80時間を超えた場合は産業医との面談を行い、メンタルヘルス相談の体制も整えてある。時間的には大丈夫でも疲弊している職員

には内部のケアにも十分注意している。
く。

町営診療所は新型コロナウイルス対応も検討していく

【質問】

コロナ禍での診療所はもつと役割を発揮すべきではないか。

【答弁】 保健福祉課長

①月間で約10日間開院している。医師の確保に苦慮している現状で、コロナ禍においてかかりつけ医として患者へのワクチンの接種を実施している。そのことで集団接種の軽減も図られている。

②今後もこの運営を維持しながら新型コロナウイルスへの対応も検討していきたい。

集落公民館の雨戸・トイレ改修は年度末までに終了

【質問】

台風対策の各集落公民館の雨戸、内トイレの設置工事の進捗、津波対策として海拔表示の現状を伺う。

【答弁】 総務課長

①34集落公民館の雨戸の改修工事

を10月から着工し年度末までには終わる予定である。すでに事業実施済みの阿伝公民館、構造的に設置が困難な湾、赤連の公民館は除く。

②海拔表示については 公共施設、役場、学校、公民館等の避難施設周辺を中心に97か所を設置してある。

共同納骨堂は10名の委員で検討開始

【質問】

町民の期待が高い共同納骨堂の進捗について伺う。

【答弁】 町民事務課長

検討委員会は区長会より3名、長寿会、民生委員・児童委員、地域女性連絡協議会、社会福祉協議会、宗教法人浄真寺、議会、副町長の10名で構成。

8月2日に第1回の検討委員会を開催した。会議ではアンケート調査結果の報告、集落の墓地の状況、郡内の事例について意見交換を行った。

今後については浄真寺の納骨堂視察はコロナの関係で延期している。

コロナの影響を見ながら第2回

目の会議を開催する予定である。



質問する
生島 常範 議員

コロナ支援は国・県と連携しつつ町独自支援も検討

【質問】

本町でも8月中旬以降感染拡大し危機的状況である。飲食店等に関しては営業時間短縮要請協力金等があり安堵しているが、一般町民向けの支援策や、相談窓口の設置を行政無線で案内できないか。

【質問】

町民の中には、感染拡大により収入減少など生活に困っている方々もいる。「今、正に災害時」なので、町独自でも現金支給や税金等納付期限猶予など検討し、支援策や各種相談窓口設置の案内をホームページだけでなく、行政無線で広くお知らせすべきではないか。

【答弁】 総務課長・税対策監

生活困窮者、従業員など個人向けの相談窓口開設も準備している。地方税法改正により、一定の要件を満たした場合、各種税の猶予、減免制度等もある。基本的には国、県の支援策で。そこから漏れるところを町単独事業で実施している。これまでは広報誌やホームページで案内してきたが、今後は行政無線でも案内していきたい。



コロナ対策で休業中の飲食店

【質問】

感染者の殆どが軽症で自宅療養だが、家庭内感染拡大による重症、重症化に備え、診療所等の町施設で隔離療養できるように、医師会や知事に要望して自衛隊医療チーム要請等も検討が必要では。

【答弁】 町長

今の状況はまだ自衛隊を要請する状況ではないが、最悪の場合は知事、県と連携して要請する必要

もあると思う。現時点では、自宅待機をできるだけ減らして、宿泊療養ができるよう県と相談しながらやっていきたい。

避難所整備は10月から34施設着工

質要

今年は幸い本町に接近した台風はまだ無いが、昨年は窓枠のない避難所のガラスが割れたこともある。これから日本接近が多い秋台風の発生に備えて、避難所の整備状況を心配する声が多い。

質問

昨年9月には超大型台風が接近し千人近い町民が避難したが、課題となった避難所の窓枠設置や内トイレへの改修工事の進捗を伺う。

答弁 総務課長

昨年の台風10号の避難状況から、避難所の分散化を図るため全集落の施設を調査した。予算確保できたので、実施済み(阿伝)、設置困難箇所(湾、赤連は地区内の公共施設を利用していただくため工事はしない)を除いた34施設を10月から着工する予定なので、工事了り施設は無し。内容は雨戸、

内トイレの改修工事。上嘉鉄地区センターは奄振事業候補で検討中。



改修工事を待つ避難所となる集落公民館

公園管理の全般的見直し事業は令和5年度から

質要

町内公園の全般的見直し計画をしているとの事であるが、多くの町民から空港臨海公園内のトイレ増設の要望が強い。グランドゴルフの人気で利用者も多い上に、海水浴客、親子連れの利用者も多い「喜界島の顔」である。

質問

高齢者を中心にグランドゴルフが大人気で、令和2年度は年間延べ1,021団体が利用し、300人

以上も参加する大会が開催されるなど、日頃から利用者は多いが、トイレは既存の1か所のみ。利用者は高齢の女性が多いのに、女子トイレは同時に2名しか利用できない。見直し計画の内容と仮設トイレの設置の可能性も含めて見解を伺う。

答弁 企画観光課長

現在実施している「空港臨海公園改修計画」にて町民、観光客等が安全安心して利用できるように9区域を設定し、4か所のトイレ設置を想定している。

実施時期は令和5年から令和9年の事業実施計画だが、その時点の社会情勢や財政状況によっては変更も有り得ると思う。仮設トイレ設置については、利用状況を考慮し、大会主催者とも協議して対応したい。

令和3年7月の空港臨海公園多目的公園のグランドゴルフ予約表

コロナ長期的な感染防止対策を

質問

来年度予算での新型コロナウイルス感染症対策費について見解を伺う。

答弁 総務課長

感染拡大防止対策を徹底しながら、影響を受けている方々への支援策を進めていくことが必要である。また、費用対効果に緊急性に備えることも必要で、具体的対応策として公共施設の確保も念頭におきながら、考えていく必要性がある。

政府は令和4年度の当初予算編成の各省庁の概算要求の段階で、既に過去最高の予算規模といった声もある。財源を確保しつつ、今年度補正予算も含めて状況に応じた施策を即座に実施できるように柔軟に対応していく考えである。



質問する
野間 弘也 議員

質問

感染症に特化したチーム、また
は対応室等の検討が必要ではない
か。

答弁 町長

組織上、必要なのがマンパワーと
考える。自分の業務をしながら、
コロナ対策業務を行うことで新型コ
ロナウイルスに関しての知識も入っ
てくる。町職員全員が一丸となって、
そして町民も一丸となって、感染防
止に進んでいく体制作りが必要。
現在の状況でスキルアップしていく
考えである。

答弁 総務課長

通常業務の関係性、人員の確保、
また新型コロナウイルス対策の業務
は多岐にわたることから、一つにま
とめるのは現実的に難しいところ
である。現在の体制でも各課明確に
役割分担しお互い連携を図り協力
体制を築くことができている。引
き続き、現在の体制で各課それぞ
れの役割を果たしながら、連携を
図り取り組んでいきたい。業務を
進めていく上で集約した方が効果
的な場合があれば、臨機応変に調
整を図っていく。また、特定の職
員に負担がかかっているのも事実で
あるため、負担や責任の分散化も

踏まえて、考えていきたい。

空港待合所改修急務

質問

長期化を考え3密解消、検査(P
CR等)体制の整備を検討するに
は空港待合所の整備が必要と考え
る。見解を伺う。

答弁 町長

施設の管理者、建物所有者、地
元自治体と関係者が多く、大変
困難しており早急に御支援頂きた
く8月2日の離島懇親会で県知事
へ、喜界空港手荷物引渡所の拡張
について要望書を提出している。

答弁 企画観光課長

現段階では打開案が見いだせな
いのが現状。今後、空港管理者の県、
空港ビル所有者である株式会社奄
美航空、運行会社の日本エアコ
ミュニター株式会社、町の4者間
での協議会等を設置し、問題を置き
去りにするのではなく、改善でき
る方向で協議を進めていく予定で
ある。

議会のうごき(10月~12月)

- 10月21日…… 広報研修会(鹿児島市)(広報委員)
- 11月9日…… 離島振興市町村議会議長全国大会(東京)(議長)オンライン形式
- 11月11日…… 奄美群島広域事務組合議会定例会(奄美市)(議長)
- 11月下旬…… 町村議会議長全国大会(東京)(議長)オンライン形式

ご案内 次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。
(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

読者の声

ひよし みよこ
日吉 美代子 (静岡県浜松市)

夏が過ぎ、シマ遊びの季節になったが、今夜もまだ暑い。黒糖焼酎の水割りに冷凍シークーを入れ氷の代わりにする。香りに酔いながら去年このシークーをちぎらせてもらった川嶺の風景を思い起こす。島を離れてはや半年。毎朝、FB(フェイスブック)を覗くとスギラビーチの様子や波の音、鳥の声が聞こえてくる。どこにいても喜界島の変わらない情景が目につかび恋しくなる。

一方、世の中はコロナにより大きく変わった。生きる力も試され、大切なものを考え直す機会が人々に与えられた。感染症はこれからも形を変え常に存在する課題になると言われている。都市からは魅力が失せ、自然豊かな地方に帰りたい人は増えてきた。けれど自然と共に生きることはそんなに容易いことではない。私は島について話す時、いつも島の人のことを話す。忍耐力と持久力、繰り返し立ち上がる強さと優しさを持つ感性豊かな人たちが島の暮らしを守っていると。この度、議会だよりへの寄稿のチャンスをおいただき、大変光栄に感じている。

喜界島で息子の慎太郎と暮らせた事は、私にとって一生の宝だ。しっかりと作り込まれた議会だよりをWEB(インターネット上)で読むと、外にいてもその時々島の様子を現実的に感じ取ることが出来る。喜界島の将来のために活き活きとした議論を進めていただき、大いなる活躍に期待を寄せる。

美しい島の外で世界は今、温暖化対策でエネルギー変換をしている。10年後にはガソリン車は販売されなくなる。世界規模で生活インフラが変

わることになる。島にある車もいずれ変わる時がある。ガソリンの代わりに、エネルギーの原料は風力、太陽光などの再生可能なものからつくるようになる。さらにはエネルギーも地産地消型を目指すようになる。中国や途上国でも自動車の普及は加速し、二酸化炭素量を急激に増やしている。異常気象や自然災害は無関係にみえるところにも襲ってくる。便利な暮らしと引き換えに自然破壊を進めてしまった現代人は世界中で温暖化対策ルールを強化されている。世界の大きな流れに呑み込まれながら、知らず知らずのうちに島の暮らしにも変化が訪れる。「変らずに生きてゆくためには自分が変らねばならない」昔のイタリア映画『山猫』での主人公の台詞だが「今の生活、仕事、幸福、などをこれからも維持するために、自分の考えや行動、生活スタイル、世の中の動向を見極め、自分が変わらなければならぬ」のではないだろうか。

私もまたいつか島に戻る事を夢見る。三線と島唄が聞こえ、スギラが美しく、黒糖焼酎をくみ交わす友人が健やかである、そんな変わらぬ島暮らしがあつて欲しい。変わらざるに在るために、島の子供達の未来に繋がる必要な変化に挑んでほしい。

時代は令和へと移り、暮らし方も多様化した。人の縁も一期一会から日常茶飯事になった。多拠点の生活もはや普通になってきた。島を出た子供達が島外に出入りしながらも島から離れずに生きる道は沢山ある。喜界島は有意義で愛と幸福に満ちる。島の子供達は現代の生き方を持つて素晴らしい故郷にきつと帰ってくる。

そんな「帰りたい島」であり続けることが島の存続になるのではないか、と思いを馳せる。

編集後記

5年生(2期目)の先輩議員2名と1年生(1期目)の新人4名、計6名で編集している「議会だより」も4回目となりました。毎回先輩方のリーダーシップの下、学びと同時に気付きも多く、感謝しております。

8月中旬から喜界町でも新型「コロナ」感染が拡大し、医療、経済を始め大変な状況でしたが、議会も行政と共に町民の皆様の不安、疑問の解消のため取り組んでおります。

手元の『議員必携』には、「議会の使命は行政の具体的な政策を最終的に決定することと、その決定した政策を中心に執行された事業の実施が適法、適正、そして公平、効率的になされているかを批判し監視すること」とあります。議会が批判、監視する根拠は町民の皆様からの「声」です。広報委員会が実施した葉書アンケートの結果を今号と次号でご紹介します。生の声を元に町民目線で活動する議会を目指していきたいと全議員思っておりますので、手元にまだアンケート葉書がございましたら是非お寄せ下さい。町民の皆様にとってもっと身近な議会を感じて戴けるような広報誌編集に努力したいと思います。



文責 生島 常範

- 喜界町議会広報委員会
- 委員長 良岡 理一郎
 - 副委員長 倉橋 博都
 - 委員 野間 弘也
 - 委員 生島 常範
 - 委員 米田 信也
 - 委員 土岐 和貴